

令和2年度(2020)

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

事業計画

令和2年(2020)2月25日

目 次

I 基本方針 II 主な事業(要旨)	P1
III 公益目的事業	P2
1. 芸術文化振興事業	P2
(1) 出雲総合芸術文化祭事業	P3
(2) 出雲芸術アカデミー事業	P4
(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務	P7
2. 博物館事業	P8
(1) 展示事業	P8
① 出雲文化伝承館 ② 平田本陣記念館	
(2) 出雲和文化交流会事業	P11
(3) 郷土資料調査活用事業	P11
(4) 呈茶事業	P11
(5) 文化財保存公開事業	P11
(6) 共催事業	P11
3. 貸館事業	P12
(1) 出雲市民会館	P12
(2) ビッグハート出雲	P12
(3) 平田文化館	P13
(4) 大社文化プレイスうらら館	P13
(5) 出雲文化伝承館	P13
(6) 平田本陣記念館	P14
(7) 管理施設の概要	P15
IV 収益事業	P17
1. 貸館事業	P17
(1) 出雲市民会館	P17
(2) ビッグハート出雲	P17
(3) 平田文化館	P17
(4) 大社文化プレイスうらら館	P17
(5) 出雲文化伝承館	P17
(6) 平田本陣記念館	P17
2. チケット販売等物販事業	P17
3. 大社図書館管理運営事業	P17

令和2年度(2020)事業計画

I 基本方針

公益財団法人出雲市芸術文化振興財団は、平成25年度に公益法人となり令和2年度新法人移行後8年目を迎えました。

本年度も芸術文化振興事業、博物館事業のほか、出雲市から指定管理者として指定を受けている6施設(※1)の貸館・管理運営事業などの公益事業を中心に、出雲市における芸術文化振興の中核を担う公益法人として『文化芸術基本法(※2)』等の趣旨に沿い、多様な文化の発信を行うほか、市民をはじめ広く文化活動の場を提供するとともに、次世代育成事業にも積極的に取り組んでいきます。

※1 指定管理6施設

- ・開館して39年となる出雲市民会館をはじめ、平田文化館、ビッグハート出雲、大社文化プレイスうらら館のホール系4施設、
- ・伝統的な家屋、茶室、出雲流庭園などにより和風文化を感じることができる出雲文化伝承館、平田本陣記念館の展示系2施設

※2 文化芸術基本法(平成29年6月23日公布・施行)

- ・改正主旨「文化芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策を法律の範囲に取り込むこと」及び「文化芸術により生み出さる様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用すること」
- ・改正概要「文化芸術振興基本法」を「文化芸術基本法」に改めるとともに、基本理念等が改正され、基本的施策に各種の例示が追加された。

II 主な事業(要旨)

芸術文化振興事業については、「音楽のまち 出雲」の推進のため、平成30年度から創設された「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」を引き続き活用し、

- ・「出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会」や、「出雲オペラ」等の公演事業及び出雲芸術アカデミーの充実を図ります。

鑑賞事業として、

- ・人形劇団クラルテによる人気公演「11ぴきのねことへんなねこ」

・音楽の分野では、「上野耕平サクソリサイタル」（調整中であり、他の事業に変更となる可能性もあります。）、「徳永ゆうきバラエティコンサート」を開催し、次世代鑑賞者の育成などに取り組みます。

出雲芸術アカデミーでは、講座運営や、アウトリーチ活動、演奏会などを通して芸術文化を学ぶ機会を提供しつつ次世代の芸術文化の担い手育成に努めます。

博物館事業については、出雲文化伝承館と平田本陣記念館両館合わせて11回の展覧会を開催し、文化伝承館では、「出雲の茶陶展」、「薬師寺の福神信仰と画僧古礪」展、本陣記念館では、「羽賀翔一展」、「はしもとみお展」など幅広い分野の優品を紹介します。

芸術文化振興事業（総合芸術文化祭）及び博物館事業（展示事業）などソフト事業については、市の施設の指定管理事業に包含されるのではなく、現時点では市の単年度毎の負担金事業となっていますが、今後、一層専門性を高めるとともに、スクラップアンドビルドなどにより真に必要な事業を見極め、安定した事業運営と責任ある経営を目指します。

貸館事業については、各館の特色を十分に活かし、館の連携と総合力で利用者の要望に的確にお応えし、適切な管理運営を行います。

Ⅲ 公益目的事業

1. 芸術文化振興事業

公益目的事業の中心となる芸術文化振興事業は、所管する施設の特色を活かしながら鑑賞機会の充実・拡大、芸術文化活動の促進など芸術文化を通じた幅広い取組による普及・推進を図ります。

事業実施に当たっては、文化庁の劇場・音楽堂等機能強化推進事業を活用して、自主事業である「出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会」や「出雲オペラ」等の公演事業の充実を図ります。

また、出雲芸術アカデミーにおいては、文化庁の同補助事業も活用して、安定的な運営に努め、充実した講座内容による人材養成事業及びアートマネジメント研修、出前講座(アウトリーチ活動)による普及啓発事業を積極的に展開します。

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

鑑賞事業は、「本物志向」の観点から多彩で優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供します。

次世代鑑賞者育成事業では、子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、鑑賞能力の向上を目指した公演として、人形劇団クラルテによる人気公演「11ぴきのねことへんなねこ」をお楽しみいただきます。

音楽の分野では、日本管打楽器コンクール史上最年少第1位受賞等輝かしい実績を持ち、気鋭の演奏家としてメディアにも多数出演している

「上野耕平サクソリサイタル」（調整中）、**好評を博したコンサート(令和元年10月)**そして、歌手として、俳優として（山田洋次監督の映画に出演）、幅広い世代に人気のある「徳永ゆうきバラエティコンサート」を開催します。更に、鑑賞事業の幅を広げることを目的に、日本海テレビの「アンパンマンショー」や、演芸を楽しむ会の「桂吉弥落語会」など、共催事業にも積極的に取り組みます。



自主事業である、「出雲オペラ」は、芸術文化振興事業や出雲芸術アカデミー事業が、出雲市から当財団に移行されて10年経過したことを機に、これまで上演してきたオペラ関連公演の総まとめとして、ピエトロ・マスカーニの代表作である「カヴァレリア・ルスティカーナ」を上演します。このオペラは、出雲芸術アカデミーの中井章徳芸術監督が研究に取り組んでいるもので、今回上演するオリジナル稿は世界初演となります。

一方、地元住民等を中心とする実行委員会による自主事業については、継続的な取組の蓄積を生かしつつ、点検や評価によりさらなる事業効果が発揮されるよう促します。あわせて、市内文化団体、地域文化活動との連携、協働により優れた芸術文化活動の担い手の育成、芸術文化を通じた地域活性化を図ります。

こうした事業の実施に当たっては、多様なメディアによるタイムリーな情報を発信し、市民の関心を高め参加を促します。事業後には市民アンケート等により把握した多角的な意見、ニーズを踏まえ事業評価者による評価を行い、次年度以降の事業へ反映させていきます。

〈第 26 回出雲総合芸術文化祭事業実施計画〉

事業区分	公演等事業名	会 場	開催月日 (予定)
鑑賞事業	人形劇団クラルテ 11 ぴきのねことへんなねこ	平田文化館	5 月 23 日 (土)
	徳永ゆうきバラエティコンサート	大社うらら館	6 月 7 日(日)
	上野耕平サクスリサイタル	大社うらら館	調整中
自主事業	将棋フェスティバル	弥生の森	調整中
	出雲囲碁フェスティバル	大社うらら館	8 月 1 日(土)
	第 19 回いずも音楽コンクール	ビッグハート出雲	11 月 14 日(土) 15 日(日)
	第 19 回いずも新春コンサート	ビッグハート出雲	1 月 10 日(日)
	出雲オペラ	ビッグハート出雲 出雲市民会館	12 月 20 日(日) 3 月 7 日 (日)
共催事業	アンパンマンショー	出雲市民会館	6 月 28 日(日)
	第 18 回サウンドフェスタ大心路	ビッグハート出雲	調整中
	第 12 回出雲神在月市民芸術文化の祭典	斐川文化会館	調整中
	桂 吉弥 落語会 Vol. 13	大社うらら館	調整中
	NHK 公開収録	調整中	調整中
	出雲邦楽邦舞の会 周年記念事業	大社うらら館	調整中

(2)出雲芸術アカデミー事業

開設から 16 年目を迎える出雲芸術アカデミーは、所期の目的とする芸術文化に触れ、学ぶ機会の提供、創造性、感性豊かな青少年の育成、指導者の育成及び市民の芸術文化活動への参加促進の達成に向けて、より充実した内容で事業運営に取り組みます。

音楽院では、幼児から高齢者までを対象に、器楽・声楽の講座を継続して実施し、その成果発表の場として演奏会を開催します。

また、音楽研究院では、講師の技術研鑽に努めるとともに、市内の幼稚園・保育所、小中学校、病院、福祉施設等へのアウトリーチ活動を充実させ、合唱や楽器の体験、生演奏の鑑賞、演奏指導など音楽の普及啓発技術の向上を図ります。そしてアウトリーチ

事業の集大成として平成 30 年度から始めた「夢いっぱい♪春まちコンサート」において、鑑賞者の育成や劇場の活性化にもつなげていきます。

出雲フィルハーモニー交響楽団第 24 回定期演奏会は、2020 年がオリンピックイヤーであることから「真の「英雄」を求めて」をテーマに、ベートーヴェンの「英雄」、R. シュトラウスの「英雄の生涯」を取り上げ、子どもから大人まで、幅広い世代で鑑賞いただける魅力あふれる演奏を提供します。

出雲 Jr. フィルについては、第 8 回定期演奏会の他、昨年度に実施予定であったのが相手方の事情で今年度に延期になった、北九州市ジュニアオーケストラとの交流演奏会を予定しています。活動の幅を広げることを目的として行っているこの県外公演は、平成 29 年度に実施した東広島市のジュニアオーケストラとの交流演奏会に続くもので、現在、相手先である公益財団法人北九州芸術文化振興財団と最終調整を行っています。



アウトリーチの様子(令和 2 年 1 月)



ファミリーコンサート



アカデミー音楽院受講生募集

〈講座運営〉

科	コース（講座・対象）	定員
幼児科(通年)	うたあそび、うたなかま（2歳児～5歳児及びその保護者）	90名
本科(通年)	音楽入門コース（キッズアンサンブル 小学1年生～3年生）	25名
	合唱コース（キッズコーラス、ジュニアコーラス 小学1年～高校2年生）	40名
	オーケストラコース（弦楽器入門、オーケストラ 小学生～高校2年生）	125名
別科(通年)	合唱コース（コーラス・レパートリー 18歳以上）	70名
	オーケストラコース（オーケストラ・レパートリー 18歳以上）	60名
	オペラコース（アクティング・クワイア 18歳以上）	25名
	邦楽コース（邦楽合奏 18歳以上）	20名

〈演奏会等事業〉

公演等事業名	会場	開催月日 (予定)
北九州市ジュニアオーケストラ交流演奏会	北九州芸術劇場	4月5日(日)
第15回ファミリーコンサート	大社うらら館	4月19日(日)
出雲フィルハーモニー交響楽団 第24回定期演奏会〔出雲フィルハーモニー・オーケストラ・セミナー2020〕	出雲市民会館	7月26日(日) [7月23日 (木・祝)～]
出雲 Jr. フィル第8回定期演奏会	大社うらら館	10月4日(日)
出雲フィルハーモニー夢いっぱい♪春まちコンサート	ビッグハート出雲	2月11日 (木・祝)

・アウトリーチ活動

市内の幼稚園・保育所(園)、小中学校、病院、福祉施設等 20 か所程度に出雲芸術アカデミー講師が出向き、生演奏や楽器体験、演奏指導などを行います。子どもたちの音楽芸術への興味関心を引き出し、創造性と感性を高め、人間性豊かな人材育成につながるとともに、病院、福祉施設等においては、音楽による心身の活性化と情緒安定の効果への期待に応えるなど、出雲芸術アカデミーの裾野拡大に寄与します。

・指導者育成支援事業

音楽研究院にて学術研究、指導者育成、音楽芸術活動支援を行います。

(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務

出雲メセナ協会の事務局事務を担います。

* 《出雲メセナ協会について》

- ・ 設立：出雲市内の企業や個人が出雲地域の芸術文化の普及、向上、発展に寄与することを目的に平成 10 年に設立。(会員数 231 名 (R 元. 12 末))
- ・ 主な活動：会員の会費を原資とした、出雲地域で開催される芸術・文化活動への財政支援等。(芸術・文化活動財政支援事業、芸術家派遣事業、メセナ協会だより発行等)

* 平成 23 年度に出雲市から事務局を引き継ぐ。



※設立 20 周年記念事業として平原綾香コンサートを開催したのに合わせて、出雲メセナ協会を山陰中央新報で PR しました。(平成 30 年度)

2. 博物館事業（出雲文化伝承館・平田本陣記念館）



出雲文化伝承館及び平田本陣記念館では、「出雲市芸術文化振興指針（第2次 2021年度まで）」及び国の「文化芸術基本法」（平成29年6月改正）、文化芸術推進基本計画（平成30年3月閣議決定）等を踏まえながら、出雲地方や日本の優れた美術工芸、歴史、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関する事業を一体的に実施し、わが国と出雲文化の魅力を紹介するとともに郷土に自信と誇りをもつことのできる多様な事業展開に取り組みます。また、出雲和文化まつりなど市民参加型の事業を企画し、郷土や暮らしの中で大切にされている伝統文化や芸術文化に触れる機会を提供するほか、子どもや大人対象の教室、講座、講演会等を通して芸術文化の多面的な振興に努め、地域の芸術文化を推進するプラットフォームとなるよう努めます。あわせて、事業について広くホームページやフェイスブックなどで紹介し、出雲の文化力を広く発信します。また収入増をはかるため、補助金の獲得や協賛広告を募るなど財源確保に努めます。

(1) 展示事業

出雲文化伝承館及び平田本陣記念館では、出雲地方の豊かな歴史や芸術文化の人的、文化財的な資産を活用、継承、発展を目指します。令和2年度は展示事業として両館で11回の展覧会を開催します。文化伝承館では「出雲の茶陶展」や「薬師寺の福神信仰と画僧古礪」展を開催します。本陣記念館ではベストセラーにもなっている「羽賀翔一展」、「はしもとみお展」などを開催し、子どもから大人まで楽しめる幅広い内容と地元志向の芸術文化に触れていただきます。本年度も展覧会にあわせ講演会、ギャラリートーク及びワークショップなどを企画して多面的に展覧会の内容を深めます。

出雲文化伝承館の出雲文化工房展示室では、佐田町在住の写真家・村岡大吾郎氏の写真展を開催します。（4月1日～5月10日）その後は平野勲氏の「日本の祭り」「出雲國神傳絵巻」などを展示します。

また平成29年に伝承館で開催した津山市、諫早市との三市交流展が令和2年10月から11月に津山市（会場 津山郷土博物館）で開催されるにあたり、展示内容等について両館で協力します。

①出雲文化伝承館

展覧会名称（仮称）	開催期間（予定）	内 容
特別展 出雲の茶陶展	4月1日（水）～ 5月10日（日） 《公開36日間》 （令和元年度からの 継続事業）	出雲焼とは江戸時代からの名称で楽山と布志名の藩窯の総称です。これらは茶陶として高く評価されています。また出雲焼は松江藩7代藩主松平不昧が指導して茶味溢れる雅陶を焼成しました。このたびは、個人所蔵の出雲焼を中心に茶碗や水指などの優品を展示します。
屏風展 —大画面の書画の魅力—	5月30日（土）～ 7月5日（日） 《公開32日間》	屏風は桃山時代から江戸時代にかけて芸術作品として地位を高めます。本展では大画面の書画の魅力を、館蔵品を中心に紹介します。
夏季特別展 出雲の福の神	7月18日（土）～ 8月30日（日） 《公開39日間》	出雲地方から御師により全国に発信した大国主の信仰の広がりや、さまざまな資料により紹介します。大国さまの多様な護符や多くの集客となった杵築富くじ資料などを展示します。
国宝東塔大修理落慶記念 薬師寺の福神信仰と 画僧古磧	10月10日（土）～ 11月23日（月・祝） 《公開40日間》	奈良、薬師寺には中世から近世にかけて福神信仰があり、七福神としても著名な毘沙門天や弁財天、大黒天などの絵画や彫刻が祀られている。本展では薬師寺でも公開されることの少ない「福の神」の仏教美術と、多くの大黒天を描いた画僧古磧（こかん）を紹介します。
新春展 私のコレクション展Ⅱ	1月9日（土）～ 2月28日（日） 《公開45日間》	出雲地方には江戸時代から優れた審美眼を持つ数寄者たちの影響で、絵師や工芸職人らが多くの優品を製作してきました。本展では個人所蔵の出雲、石見地方ゆかりの絵画、木彫、陶芸、漆芸などの佳品を紹介します。
開館30周年記念 出雲の木彫展	3月20日（祝・土） ～3月31日（水） 《公開10日間》 （5月中旬までの 継続事業）	出雲国の名工如泥の影響で、郷土では荒川亀斎や荒川嶺雲、また芸術院会員となった内藤伸などが活躍しました。本展では郷土の木彫家や木工家の優品を紹介します。

②平田本陣記念館

<p>羽賀翔一展 —「インチキ君」から「漫画 君たちはどう生きるか」まで—</p>	<p>4月1日(水)～ 5月31日(日) 《公開 53 日間》 (令和元年度からの継続事業)</p>	<p>吉野源三郎の名作「君たちはどう生きるか」を初めてマンガ化した羽賀翔一の本は現在 200 万部を超えるヒット作となりました。本展では、「漫画 君たちはどう生きるか」の原画をはじめ、羽賀のデビュー作「インチキ君」から現在の作品まで展示します。</p>
<p>大雲動物園 —自宅画室にあらゆる動物を飼い、画業研鑽した日本画家—</p>	<p>6月12日(金)～ 8月30日(日) 《公開 70 日間》</p>	<p>平田出身の日本画家、小村大雲は動物画を極めるため、自宅に様々な動物を飼い、寸暇を惜しんで写生を続けました。近所では、この画室を「大雲動物園」とよんで親しみ、やがて大雲は動物画の大家として全国に知られるようになりました。大雲の目でとらえた様々な動物画を紹介します。</p>
<p>はしもとみお展</p>	<p>9月11日(金)～ 11月8日(日) 《公開 51 日間》</p>	<p>はしもとみお(1980 生れ)は兵庫県に生まれ、15 歳で阪神淡路大震災に遭遇。将来の夢をそれまでの獣医から「動物の命」をテーマとする芸術家に変更し、東京造形大学、愛知県立芸術大学で彫刻を専攻する。心を込め命を宿した動物たちの木彫を展示します。</p>
<p>植田英夫写真展</p>	<p>12月4日(金)～ 1月31日(日) 《公開 46 日間》</p>	<p>斐川町出身の写真家、植田英夫(神奈川県藤沢市在住)は故郷の自然を写真にとらえ続けています。今回は平田・斐川を中心に様々な郷土の姿を、紹介します。</p>
<p>人を描く —郷土作家を中心に—</p>	<p>2月26日(金)～ 3月31日(水) 《公開 29 日間》 (4月あるいは5月までの継続事業)</p>	<p>人物は古来より絵画の主題となり描き続けられています。郷土作家でも、働く女性を描いた落合朗風、歴史画をよくした小村大雲、芸能人の肖像画を描いた石原豪人など、様々な作家が人物を描いています。本展では、郷土作家を中心に人物画の魅力を紹介します。</p>

(2) 出雲和文化交流会事業

市内の伝統文化関係団体で構成される出雲和文化交流会の協力を得て、10月31日、11月1日に18回目の「出雲和文化まつり」を出雲文化伝承館で開催します。(茶会、いけ花展示、邦楽邦舞演奏等)

(3) 郷土資料調査活用事業

出雲文化伝承館、平田本陣記念館が寄贈、寄託を受けた歴史、文芸資料の整理、目録作り、撮影、解説を行い、今後の展示事業への活用を図るため調査、研究、整理を行います。

平成27年度から平田本陣記念館蔵の木佐家文書を整理しており、また他家の古文書についても調査活用を行います。

(4) 呈茶事業

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、出雲文化伝承館の茶室「松籟亭」、平田本陣記念館「庭園鑑賞ホール」で、お抹茶を味わっていただきます。あわせて、茶道各流派の茶会及び学校児童等による茶道催し等に連携支援し貸出します。

(5) 文化財保存公開事業

出雲文化伝承館では、出雲市指定文化財である出雲屋敷等の施設の公開と活用を図り、出雲流庭園、独楽庵及び松籟亭と一体となった落ち着いた景観の維持管理に努め、くつろぎの中で伝統建築を理解していただきます。

また、平田本陣記念館では、県内では稀に残る御成り屋敷と、米国の日本庭園専門誌においても評価された庭園を中心に保存公開し、特色ある出雲文化の伝統を紹介します。さらに本陣記念館では、引き続き学校の授業で来館する市内小学校児童へ民具の解説を行います。あわせて両館では市民所蔵の美術品等の保存活用等について、専門的な支援を行います。

(6) 共催事業

出雲文化伝承館 第29回 早春の茶会 3月27日、28日予定

主催 早春の茶会(表千家、裏千家、三斎流、不昧流不昧会、香道御家流)

3. 貸館事業

出雲市民会館をはじめ財団が管理する6つの施設は、多くの市民に親しまれる地域文化振興の拠点として、財団自主事業や各種文化団体による上質な演劇・演奏を鑑賞する機会、また、広く市民を対象とした講演会や発表会の場を提供し芸術文化の振興を図ります。

施設の貸出しにあたっては、当該館の施設のみならず他館の特徴もよく掌握し、利用者のご要望にお応えするとともに適切かつ効率的な貸出しに努めます。

また、各施設建設後の年数が経過しており、耐用年数が過ぎた舞台設備等の計画的な改修について出雲市にお願いするとともに、建物、設備、備品いずれも保守・点検と大事に至る前の小修繕を適時適切に行うなど維持管理が特に重要となってきています。

(1) 出雲市民会館



出雲市のメインホールである1,210席の大ホール、大小会議室、展示室、多目的室など、地域の文化センターとしてご活用いただいております。引き続き、催し物・会議・展示会など利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう取り組みます。

(自主事業)

大ホールの更なる有効活用と来場者の増加を図るため、自主事業への取り組みを推進することとし、まず第1歩として、コンサートの共催事業などに取り組みます。

(2) ビッグハート出雲



JR駅、一畑電鉄駅に近接した利便性の良さと市民参加型の催しに適した規模のホールなどを始め、多彩な施設を擁していることから、今後も芸術文化活動だけでなく、学

会、研究会、打ち合わせ会などの会議などにもご利用いただけるよう努めます。

(自主事業)

立地と施設の多様性を活かして、多くの市民に楽しんでいただけるよう自主事業に取り組みます。

(3)平田文化館



プラタナスホール（大ホール）は、電動移動観覧席により自由な座席設定が可能で、講演会やコンサートなど地域の文化活動の拠点としてご利用いただいています。また、座席を収納しフラットなスペースにより、展示会やパーティー、軽運動など多様な催しに幅広くご利用いただけます。このほか、小ホール、会議室、和室、応接室を備えており、多目的に利用できるホールの特徴等を活かしながら、利用促進に努めます。

(4)大社文化プレイスうらら館



600席のだんだんホール及び200人の収容が可能なごえんホールを有する市内の中規模文化施設として、利用者の皆様のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう取り組みます。また、出雲市立大社図書館との複合施設という特徴を活かし、地域の文化拠点として親しみをもって使っていただけるよう、地域の文化団体等との連携を大切にしながら業務を推進します。

(5)出雲文化伝承館

出雲屋敷、茶室「松籟亭」、茶室「独楽庵」、企画展示室、出雲文化工房及び縁結び交流館の貸出しについて、利用者の皆様のご要望にお応えしつつ、出雲文化の伝承・継承を図る目的に沿い適切に対応することとし、多様で特色ある施設を有効にご利用いただけるよう取り組みます。

(自主事業)

出雲文化伝承館の特徴を生かして、伝統文化の普及・継承を目的に、子どもと一般対象の教室、文化講座等を開催します。

《各種教室・講座》

①こども教室

ふだん触れることの少ない伝統文化や芸術文化を楽しく学び、関心を深めることを目的に体験教室を開催します。

ア. こども和文化クラブ (通年)

茶道教室、いけばな教室、箏教室、日本舞踊教室 (各月1～2回、5月～)

イ. 夏休み等こども教室

水彩画教室、やきもの教室、和菓子づくり・お抹茶体験教室、いけばな教室など

ウ. 幼稚園等訪問ミニ鑑賞会

「日舞・箏」のミニ観賞会

②一般対象文化講座

絵画教室、「出雲流庭園」講座、大人のためのお抹茶のいただき方教室、掛け軸の取扱い方教室、陶芸教室、文化講座など

《多様な施設の活用》

出雲文化伝承館は、市指定文化財の「出雲屋敷」、博物館機能を有する「企画展示室」、茶席体験ができる茶室「松籟亭」、不昧公ゆかりの茶室「独楽庵」、出雲そばの「そば処」、多目的ホールの「縁結び交流館」、陶芸やそば打ち体験などができる「文化工房」など多様な施設を有しています。これらの多様な施設を生かして、文化芸術の保存・継承、交流、発信の拠点のみならず、地域の生涯学習、国際交流活動、ボランティア活動や観光の拠点などとして、行政や関係団体等と連携のもと幅広く施設の有効活用に努めます。

(6) 平田本陣記念館

出雲の歴史と文化に包まれた特色あるこの施設の本館、展示館、茶室(悠々庵)の公開と貸出しについては、利用者のご要望に即して有効にご利用いただけるよう取り組みます。

(呈茶事業)【再掲】

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、出雲流の日本庭園を鑑賞しながら、お抹茶を味わっていただきます。

(自主事業)

伝統文化の普及と継承を目的に引き続き子ども・親子教室、一般対象の教室などを開催します。

《各種教室・講座》

①こども・親子教室

夏休み・冬休みを中心に書道、茶道及びいけばななど日本の文化、工芸を体験する教室を開催し、礼儀作法、行儀作法などをご指導いただきます。(書道教室、カレー皿絵付け教室、親子茶道教室、親子いけばな教室など)

②文化講座(一般対象)

掛け軸の取扱い教室では、掛け方、収め方及び保管方法を教わります。また、日本の文化を体験する教室や出雲ならではの方言講座などを開催し、その理解や普及を図ります。(掛け軸の取扱い方教室、茶道教室、出雲弁講座など)

(7)管理施設の概要

管理施設名	主 な 施 設	利 用 案 内
出雲市民会館 (塩冶有原町 2 丁目 15) TEL 24-1212	大ホール(1,210 席)	コンサート、演劇他各種公演、伝統芸能、式典、講演会、小・中・高校生の音楽練習ほか
	展示室(243 m ²)	各種作品等の展示ほか
	多目的室(82 m ²)	音楽団体等の練習会場、会議用、展示用
	会議室(5 室)	セミナーや講座、企業や団体の会議・研修用
ビッグハート出雲 (駅南町 1 丁目 5) TEL 20-2888	白のホール (341 席)	コンサート、演劇、学会、講演会、研修会、各種教室・学校の発表会、音楽練習ほか
	白のホール控室(54.34 m ²)	
	アートギャラリー(263.78 m ²)	作品展示ほか
	黒のスタジオ(139.48 m ²)	舞踊・ダンス・音楽の練習、会議、研修会ほか
	茶のスタジオ(122.47 m ²)	講演会、会議、研修会、音楽練習ほか
	レセプション(91.2 m ²)	会議、研修会、レセプションほか
	会議室(3 室)	会議、面接、研修会ほか
	練習室(25.21 m ²)	個人練習、バンドの練習、レッスン、ワークショップほか
文化サロン(183.50 m ²)	市民、各種団体のミーティング、作業、相互交流の場	

平田文化館 (平田町 2112 - 1) TEL 63-5030	プラタナスホール(406 席 ～813 席、572.2 m ²)	講演会、研修会、コンサート、映画上映会、 作品展、展示会場、パーティー会場、軽運動 場
	小ホール(110 席、144 m ²)	講演会、会議、研修会、講習会、控室(楽屋)、 絵画作品展
	会議室(2 室)	会議、研修会、講習会、控室(楽屋)
	和室(2 室)	会議、研修会、控室(楽屋)等
	応接室	小会議、控室(楽屋)等
大社文化プレイス うらら館 (大社町杵築南 1338 - 9) TEL 53-6500	だんだんホール(600 席)	コンサート、演劇等各種公演、伝統芸能、式 典、講演会、音楽練習ほか
	ごえんホール(200 席)	講演会、研修会、作品展、コンサート、音 楽練習ほか
	会議室(3 室)	会議、研修会ほか
出雲文化伝承館 (浜町 520) TEL 21-2460	出雲屋敷(356.6 m ²)	見学、茶会、結婚披露宴前撮りほか
	茶室「松籟亭」(150.82 m ²)	呈茶、茶会、香会
	茶室「独楽庵」(33.15 m ²)	茶会、香会
	文化工房(438 m ²)	展示、作品展、陶芸教室、書道教室ほか
	企画展示室 (展示棟 580.8 m ²)	企画展、特別展等
	縁結び交流館(503 m ²)	音楽練習、コンサート、講演会、会議、ダン ス、軽スポーツほか
平田本陣記念館 (平田町 515) TEL 62-5090	本館	生け花展、茶会、地域イベントほか
	展示館	美術品等展示
	茶室	茶事ほか

IV 収益事業

次の(1)から(6)までの施設の貸出しにおいては、営利を目的とするホールの施設や物販等の利用のための貸出しを収益事業とし、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めます。

1. 貸館事業

(1) 出雲市民会館

ホール、楽屋、控室、展示室、多目的室、会議室

(2) ビッグハート出雲

ホール、控室、アートギャラリー、スタジオ、レセプション、会議室、練習室、文化サロン

(3) 平田文化館

ホール、楽屋、会議室、和室、応接室

(4) 大社文化プレイスうらら館

ホール、楽屋、会議室、テラス

(5) 出雲文化伝承館

展示室、茶室、指定文化財庭園等、多目的ホール

(6) 平田本陣記念館

本館、展示室、茶室

2. チケット販売等物販事業

(1) 各プロモーターが行うイベント等に係るチケットの販売等を行います。

(2) 企画展等において、受託販売物や図録等の販売を行います。

3. 大社図書館管理運営事業

大社文化プレイスうらら館との複合施設である出雲市立大社図書館の建築物及び設備機器の保守管理、清掃、保安警備業務などを適正かつ効率的に行います。